

# 遊ゆぎょうじ行寺だより

ホームページでも  
配信しています

紅葉が待ち遠しい季節になりました。

今月は千草子先生を講師にお迎えする公開講座が開かれます。ぜひ皆さままでご参加ください。

## — 今月の行事予定 —

### ◆第 34 回 全国時宗檀信徒研修会【17 日（月）、18 日（火）】

全国にある時宗寺院の檀信徒の皆様が総本山で研修会・懇親会を行います。

### ◆第 9 回 文化講演会公開講座【18 日（火）】

開場：午後 1 時・開演：午後 2 時

演題：『源氏物語』の姫君から鎌倉女人へ

作家・国語学者として活躍され、多数の著書もお書きになっている千草子<sup>せんそうこ</sup>さんを講師にお迎えします。

遊行寺のお檀家様には特別席をご用意いたします。なるべく事前にご連絡ください。

### ◆月例法話会<sup>げつれいほうわかい</sup>

【23 日（日）午後 2 時】

信徒会館で行います。ぜひ、ご参加ください。

今月のお話の演題は

「誰かを傷つけるということ」です。

講師：時宗布教伝道研究所

神奈川県横浜市 浄光寺 三浦諒洸<sup>りょうこう</sup>師

## — 今月の催事予定 —

### ◆骨董市 【2, 16 日】

毎月第 1 日曜日…蚤<sup>のみ</sup>の市

毎月第 3 日曜日…ボロ市

\* 午前 7 時より午後 4 時まで(雨天中止)

### ◆野菜市 【5, 12, 19, 26 日】

毎週水曜日 午前中・雨天中止

### 【秋季開山忌満行のご報告】

先月 21 日から 24 日にわたり一遍上人の忌日法要である秋季開山忌を厳修いたしました。天候には恵まれませんでした。皆様のお陰様をもちまして無事結願を迎えることができました。多くの方々に御志納ご参詣を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

今年の春季開山忌から実施しております奉納芸能は、今回「講談」を加えて、「落語」との二本立てで行い大変好評でした。

今後とも皆様に親しんでいただける開山忌を目指してまいりますのでご助力の程よろしくお願い申し上げます。



### \* 遊行寺宝物館

特別展『不思議な伝承 ～天狗の爪に鬼の牙～』【9 月 17 日（土）～12 月 19 日（月）】

・開館日：毎週月・土・日曜日・祝日 ・入館料：500 円（小・中学生 300 円）

## 『顔面問答』

宗祖の

## 今月のおことば

先日9月28日に、時宗全国青年会の大会が西山浄土宗の総本山である京都府長岡京市の光明寺において行われました。

光明寺は浄土宗の宗祖法然上人の立教開宗の地、そして御廟がある地として知られています。

法然上人は様々なお言葉を残されており、中でも「智者のふるまいをせずして、ただ一向に念仏すべし」は教えの到達点とも言われます。右に載せている一遍上人のお言葉と共通した心が感じられるのではないのでしょうか。

さて、話は変わりますが、今回は中国清時代の詩人・愈曲園ゆきよくえんが書いた『顔面問答』というお話を簡単にご紹介いたします。

ある時、顔の中の“口”、“鼻”、“目”が顔の中での位置関係について不満を言い出しました。口は「私は食事という大事な仕事をしている。それなのになぜ顔の中で一番下に位置しているのか」と嘯みつきます。

鼻は「いやいや、私がいなければ呼吸ができないではないか。目は食事も呼吸もしていないくせに私たちを上から偉そうに見下ろすとはけしからん。」と息を荒らげます。

それを聞いた目は「私にだって重要な役割がある。高い位置から世の中の様々な危険を監視しているのだ。」と反論します。

そして結局、三者の矛先は“眉毛”へ向けられました。「ほとんど何の役にも立っていないにも関わらず顔の最高位にいるのはなぜか。」と目、口、鼻に問われた眉毛は「君たちの職務にはとても感謝している。そして私自身恥ずかしながら役目がなんであるか分かっていないのだ。ただ祖先以来こうしてこの場所を守っているだけなのだ。」と話しその場が治まりました。

この話の著者である愈曲園は「私は今まで目や口や鼻のように自分を主張して生きてきたが、これからは眉のような心持ちで生きていきたい」と結んでいます。

“自分が自分が”と我を通そうとするから不満や不平が生まれるということでしょう。また、目、口、鼻は存在そのものに価値があることを忘れてしまっています。

さて、この『顔面問答』と冒頭で紹介した祖師方のお言葉に似た含意を感じるのは私だけでしょうか。

合掌

facebook 

フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。最新記事をお読みいただけますので、ぜひ“いいね！”してください♪

時宗総本山 〒251-0001 神奈川県藤沢市西富 1-8-1  
遊行寺 TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243  
ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>

ただ愚おろかなる者の心に立たかへりて  
念仏したまふべし  
「一遍聖絵」

～一遍上人のおこころ～  
知識や信心、能力などにとらわれることなく、すべてを捨てる心で、お念仏を唱えることが大事なのです。

